

平成29年度 地震（津波）避難訓練 実施計画

佐賀県立唐津特別支援学校
生活安全部安全指導係

1. **ねらい** ・児童生徒の防災意識を高め、非常時に際し、落ち着いて素早く安全に避難できるようにする。また、正しい避難方法を知る。
・職員は避難計画を確認し、手順に従って、児童生徒を敏速、安全、確実に避難誘導する。
2. **想定** 玄界灘を震源とする地震（震度6弱程度の揺れ）が起こり、津波が発生して津波警報が発表された。
3. **日時** 平成29年9月13日（水） 10:30～11:30
（予備日） 9月14日（木） 10:30～11:30

4. 内容

- (1) 本部の設置：校長、副校長、教頭、事務長（事務室）、放送【教務】
- (2) 被害状況確認[校舎の倒壊等被害状況の確認・火災発生の確認]【教頭、事務長】

(3) 地震避難訓練

- ① 10:30 地震発生（想定）効果音、音声入り（CD）を放送で流す。「緊急地震速報です。強い揺れに警戒して下さい。」（20秒間）【教務】

② 【避難開始の放送1回目】＜待機＞

「訓練、訓練。只今地震が発生しました。児童生徒の皆さんは、先生の指示に従って各教室で静かに待機して下さい。繰り返します…」【教務】

③ 【第1次避難】外に出たり騒いだりせず、各教室で静かに待機する。（約2分）

- 外に出たり騒いだりしない。
- 天井からの落下物、ガラスなどの飛散物に気をつけ、机の下に入ったり、タオルやクッション、マットなどを使って頭部を守る行動を取ったりして、揺れがおさまるのを待つ。（児童生徒の様子に応じて）
- 避難口確保のためにドアを開ける。

④ 【避難開始の放送2回目】＜避難＞

「訓練、訓練。児童生徒の皆さんは、先生の指示に従って運動場に避難してください。繰り返します…」【教務】

⑤ 【第2次避難】運動場に避難する。

- 避難口等周囲の状況、周囲の安全を確認する。
- 防災袋を持って避難できる場合は、防災袋を持って避難する。
(別の場所に取りに行ったり、取りに戻ったりすることは、絶対にしない。)
- 上靴のまま、できるだけ建物から離れて避難する。
- 中庭側から出る場合、屋根からの瓦等の落下物を避け、安全な場所を通る。
- 管理棟、中央廊下は天井からガラスが落下する危険性があるので通らない。
- お・は・し・も（おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない）を合言葉に移動する。
※ 保健室に静養者がいることを想定し、ストレッチャーで搬送避難する。
(搬送… 。搬送、静養者役は今回なし)

- ⑥ 避難場所 運動場中央（別紙参照、倒壊の危険があるためバックネットから離れる）
※原則学級ごとに整列する。（人員の把握は担任が適しているため）
- ⑦ 避難状況の最終チェック、傷病者の支援等
・【 】（1、2棟目）、【 】（3、4棟目）、【 】（5、6棟目）、
寄宿舎指導員3名（特別教室等、体育館）、【教頭】（管理棟）が確認する。
（寄宿舎の先生方は、その後、南門を開放し、交通誘導員として誘導・整理等を行う。）
その後、副校長（運動場）にそれぞれ報告する。
・計時（避難開始の放送から避難完了までの時間）…【教頭】
- ⑧ 避難完了後、各学級担任は、次のことを【各学部主事】に報告する。
・学級名 ・児童生徒数（欠席の有無） ・異常の有無
- ⑨ 各学部主事は、⑧のことを本部【副校長】に連絡する。
- ⑩ 報告の終わった学級は、その場に腰を下ろして静かに待つ。
- ⑪ 報告が終了した時点で、地震避難訓練について話をするとともに、次の津波避難訓練について説明を行う。（生活安全部）

(4) 津波避難訓練

- ① 津波警報が発表されたことを受けて、JAからつ選果場の2階へ避難を開始する。
- ② 小学部→中学部→高等部の順に避難を行う。
- ③ 運動場～南門～市道を横断【交通誘導職員を配置する。】～階段下集合場所に集合（JAからつ敷地内）（階段前に到着後、学級ごとに整列して、順に上り始める。）→JAからつ選果場2階へ
※交通誘導職員：寄宿舎より(3名)【 】【 】【 】
- ④ 選果場2階での動き
※原則学級ごとに整列する。（人員の把握を行うため。）
※避難完了後、各学級担任は、次のことを【各学部主事】に報告する。
・学級名 ・児童生徒数（欠席の有無） ・異常の有無
- ⑤ 学部主事は、上記のことを本部【副校長】に報告する。
- ⑥ 小学部→中学部→高等部の順に学校（運動場）に戻る。
- ⑦ 最初に集合した要領で、再度集合する。
※集合完了後、各学級担任は、次のことを【各学部主事】に報告する。
・学級名 ・児童生徒数（欠席の有無） ・異常の有無
- ⑧ 学部主事は、上記のことを本部【副校長】に報告する。
- ⑨ 解散
集合状況確認後、訓練終了の合図があり次第、解散する。
※上靴の裏や車いすのタイヤ等の汚れを落として校舎に入る。

(5) その他

- ・児童生徒の体調などによっては、担任の判断で、参加・不参加の判断をする。
(保健室の静養者についても)

・**不参加の場合は、各学部の主事に事前に連絡をする。**

- ・来校中の保護者も可能な場合は、避難場所に避難する。(担任から事前に説明しておく)
- ・電源喪失の場合には、本部の指示に基づき職員室在中の職員や事務室職員が手分けをして全体に連絡する。
- ・PM2.5の値が35以上のときは、各学部主事が、呼吸器系など配慮が必要な児童生徒を中心に連絡し、避難方法を検討、確認する。

※からつ医療福祉センターに、事前に避難訓練実施の通知を電話等で行う。(☎ 70-3580)

※CDは生活安全部の棚の緑のファイル「避難訓練」に入っている。

音楽室のCDラジカセが音源。(音量33)マイクを通して放送する。